

市長と語る市政懇談会

市民の皆さんに市政への理解と信頼を深めていただくため、昨年8月3日から12月19日にかけて、市内10中学校区11会場で「市長と語る市政懇談会」を開催しました。懇談会では、市長が市政運営について説明し、町内会長をはじめ

延べ850人以上の参加者の皆さんから200余りの貴重な意見などをいただきました。その一部を要約して紹介します。

問 秘書課広聴担当（☎65・2160）



市政運営について説明する中村市長



意見や要望を発言する出席者

市政運営は、「市民主役のまちづくり」「少子高齢化と人口減少への対応」「厳しい財政状況を乗り越えるための徹底した行財政改革」に重点を置き、各種施策を推進します。

「市民主役のまちづくり」として、市民の皆さんが率直に事業提案や意見できる仕組みづくりや、全国的に希薄化している地域のつながりやコミュニティの活性化などに取り組みます。

「少子高齢化と人口減少への対応」として、住みたいまちや働くことのできるまち、訪れたいまちという観点から、きめの細かい子育て支援策などを講じ、西尾市はいいなと思えるまちづくりを進めます。

「厳しい財政状況を乗り越えるための徹底した行財政改革」として、企業誘致などで税収を確保します。

一方、出るお金を減らすという課題があります。行政が担っている部分で時代遅れになっているものや優先順位が低いものは、事業の縮小・廃止を含めて改革していきます。

（市長）



国道23号西尾東インター付近

答 現在、東部地区に市や土地開発公社による具体的な開発計画はありませんが、国道23号西尾東インター付近に民間開発で2社が進出予定です。一般的な民間開発では、相談のあった企業に、最初は山間部や、農地以外の利用への規制が緩い白地農地での開発を提案します。企業の要望に合わなければ、農振除外などの許可が見込まれる農地での開発を提案しています。その後の開発は、企業自身が地元との調整や用地の買収などを行います。

企業誘致の計画

東部地区に工場誘致などの開発計画はありますか。考え方や規模、進め方を教えてください。（東部）

産業振興



佐久島と本土を結ぶ渡船

佐久島の振興

佐久島では、これまで行政や町内会、島を美しくつくる会などがさまざまな取り組みをしています。人口が、人口の減少が止まりません。人口がこのまま減り続けると、小・中学校の統廃合や行政サービスの低下、診療所の撤退などが心配です。どのような点に力を入れて地域振興を行うのか教えてください。（佐久島）

答 島を美しくつくる会の活動の補助や「三河佐久島アートプラン21」によるアート事業、海水浴場をはじめ観光施設の維持管理などを継続的に実施しています。この結果、27年度以降、島を訪れる観光客は10万人を超えました。引き続き交流人

口と定住者の増加を図ります。

定住するには島での仕事が必要で、一つの方法として、遊休農地です。新たな島の特産品を開発するため「サツマイモ栽培」を島を美しくつくる会と協働で進めています。また、島で生活しながら一定の期間、地域活動に従事し、島への定住につなげる「地域おこし協力隊」の導入を検討します。

観光地の整備

平原にある展望台やハイキングコースは、設置後ほとんど整備されていません。今後の整備の方向性などを聞かせてください。（東部）

答 現地を確認すると、コース内に横道が開いていたり、流水で段差ができていたりしたので、早急に対応します。また、今後は地元の方に協力いただきながら、多くの方がハイキングを楽しめるようコースを整備します。

社会基盤

工事要望

町内会が提出した工事要望書の審査状況や工事の状況が分かるように、市のホームページで公表できませんか。（鶴城）

答

工事要望書の提出は、年間2000件を超え、国・県・警察など他の機関に係る要望も多いため、ホームページなどでの公開は困難です。町内会から問い合わせがあった場合、進捗状況を確認し、約1週間後に書面で回答しています。

公共交通の確保

西野町地区には電車やバスなどの公共交通機関がありません。せめて、市役所や市民病院、名鉄西尾駅への交通手段が必要です。また、米津町や南中根町の住民が利用しやすい六万石くるりんバスの運行ルートを保ってください。（鶴城）

答 六万石くるりんバスのルートは、1便1時間のダイヤ設定やバス車両が通行可能な道路などを考慮



六万石くるりんバス

して決定しています。六万石くるりんバスで全ての地域をカバーするのは困難であり、利用が難しい地域ではデマンド型乗合タクシー「いこまいかー」で自宅から最寄りの公共交通機関を結んでいます。

現在、「西尾市地域公共交通計画」に基づき、公共交通体系を見直しています。「いつ、だれが、どこに移動するのに困っているのか」ということから地域の皆さんと議論を始め、改善案を検討していきます。

下水道整備

西尾市公共下水道（汚水）年次計画では、福地地区は31年以降の整備予定となっています。見通しを教えてください。（福地）

答 29年3月の市行財政改革推進計画第5次実行計画で「市街化調整区域における下水道の整備計画を見直し、事業の採算性が厳しい地域は、事業を凍結する」という方針が、パブリックコメントを経て決定しました。下水道整備は公共事業ですが、厳しい財政状況の中で採算を考慮せずに進めるのは困難です。現在、事業の採算性を調査・検討しており、有識者や市民の皆さんで組織する市上下水道事業審議会に諮った後、凍結区域を決定する予定です。凍結区域になった場合は、代替措置として、合併浄化槽への転換を補助し、汚水処理対策を進めていきます。

駅周辺のまちづくり

名鉄西尾・蒲郡線は2020年度までの存続が合意されていますが、その後の確約は得られていません。福地駅は、福地地区だけでなく一色地区の住民にとっても重要です。パークアンドライドや大規模住宅地開発など駅周辺の開発による利用者の増加が必要と考えます。(福地)

答

名鉄西尾・蒲郡線の乗客数は、関係団体の熱心な活動などで平成19年度以降増加しています。福地駅周辺は市街化調整区域のため、農用地を主とする土地利用が位置付けられ、宅地開発などが難しい地区です。なお、市街化区域内には多くの低・未利用地があるので、その有効利用を図ります。パークアンドライドは、駅周辺の状況を調査し、今後の方針を定めます。

教育・文化・スポーツ

市民ギャラリーの設置

市内には市民ギャラリーがありません。もっと芸術・文化の振興を図るべきです。岩瀬文庫のミニギャラリーは、数人または団体で使用するには狭く、文化会館の会議室はスポットライトなどの設備が悪く、使用料も高額です。岩瀬文庫のミニギャラリーへの通路と東側の休憩室をギ



さまざまなイベントが開催される文化会館

ャラリーに改造、または文化会館の会議室の一部をギャラリーに改造しませんか。(鶴城)

答

岩瀬文庫休憩室は、文化振興課刊行物などの重要な販売所であり、来館者や公園利用者の憩いの場です。また、通路は非常時の避難通路となるため、改造は考えていません。文化会館は、築35年以上経過し、いずれ大規模な改修が必要です。改修の際には、市民ギャラリーの設置を検討します。

中畑地区のふれあいセンター

中畑地区のふれあいセンターの整備は、28年度に基本構想が取りまとめられました。今後は基本計画、実施計画、工事着手と着実に進められることを望みますが、今後のスケジ

ュール、具体的な建設計画を教えてください。(平坂)

答

中畑地区のふれあいセンター整備に関する基本構想は、市の公共施設再配置計画や財政面を考慮しながら、建設用地や公民館機能の複合、国の補助制度などを検討して策定しました。今後は、建設用地と整備に必要な予算の確保に努め、数年の間に基本設計や実施設計を行い、工事に着手します。

健康・福祉

市民病院

市民病院は市民にとって貴重な施設ですが、運営状況が思わしくなく、市の財政を圧迫し、存続も難しいと聞いています。市の負担額なども含めた市民病院の運営状況と存続への課題、今後の計画を教えてください。(鶴城)

答

市民病院の運営には、ここ数年、国の基準に基づき市が約15億円を負担しています。28年度決算に限れば、さらに9億円を追加で負担しており、市の財政に及ぼす影響が大きくなっています。

しかし、年間約4000件の救急車を受け入れており、市民の安全・安心を守る地域医療の拠点として、市民病院は必要不可欠です。病院存



地域医療の拠点 市民病院

続への課題は、経営の健全化です。今後は市民病院改革プランに基づき、医師の確保や病棟の再編などを進め、経営改善に努めます。

自然環境・生活

防犯カメラの設置

通学路の主要交差点に防犯カメラを設置してください。市で何か計画があれば教えてください。(西尾)

答

地域の安全は地域で守るとの観点から、防犯カメラの設置は各町内会にお願いしています。市からは防犯カメラ設置に当たり補助金を交付しており、補助率はカメラ購入と設置費用の3分の2で、上限額は20万円です。ぜひ補助制度を活用してください。

AEDの設置

各町内会の公民館にAEDを設置してください。市で何か計画があれば教えてください。

(西尾)

答

各公共施設へのAED設置と、市内の事業所にあるAEDを有効活用するため救命ステーションの制度化を進めてきました。市全体のAED設置計画はありませんが、各町内会の公民館に設置する場合は、自主防災会運営費補助金を利用できますので、自主防災会を通して活用してください。



公共施設などに設置されたAED

防犯灯の手続き

防犯灯の電球切れや、LEDへの変更の申請から決定までの期間が長過ぎます。手続期間を短くしてください。

(幡豆)

答

防犯灯の設置申請は毎年多数寄せられ、特に年度当初は集中し、決定までの期間が長くなっています。電球切れによる改設と新設分は緊急性が高いため、現在、事務処理の迅速化と決定までの期間短縮に努めています。なお、点灯中の蛍光灯のLEDへの変更は、予算の状況を見ながら対応していきます。

産業廃棄物処分場

新たな産業廃棄物処分場計画に対する市の考えを聞かせてください。

(二色)

答

処分場建設の計画がある一色町生田地内の三河湾沿岸部は、南海トラフ地震による津波浸水被害が想定され、液状化の危険性が極めて高い地域です。新たに建設された処分場から、廃棄物や汚水が海に流出した場合、被害は西尾市だけにとどまらず、三河湾全体に拡散し、取り返しがつかなくなります。また、市の水産業や農業、関連する加工業への風評被害が発生することが予想されます。

西尾の豊かな自然や三河湾の環境を次世代に引き継ぐため、新たな処分場の建設に反対していきます。

ごみの分別マナー

資源分別回収で収集日前に出したり、分別せずに捨てたりするマナー

の悪い事例が見受けられます。人の良心に訴えるようなのぼり旗を作成し、各町内会に配布してもらえませんか。

(吉良)

答

ごみ減量課では、ごみステーションに設置する監視カメラを8台保有しています。また、「分ければ資源、まぜればごみ」と書いたのぼり旗もあり、要望があれば町内会に配布しています。マナー改善のため、ぜひ利用してください。

市民・行政

公共施設再配置

PFI事業による公共施設再配置第1次プロジェクトは、このまま進めれば将来に負の遺産を残すこととなります。不要なものを作らず、時間がかかっても市民の意見をできるだけ反映したプロジェクトに是正すべきです。

(吉良)

答

一度立ち止まって事業内容を見直し、皆さんの意見をできるだけ反映した形で修正できるよう検証し、民間事業者と交渉します。

学校プールの統廃合

寺津温水プールの計画は、地元住民への情報提供や説明が不足しており、コンセンサスを得て進める姿勢

「市長と語る市政懇談会」の会議録を公開しています

市役所の行政情報コーナー（1階）と各支所で会議録を閲覧できます。また、市ホームページの市政情報「平成29年度『市長と語る市政懇談会』会議録等」でも詳しい内容を確認できます。



が欠けています。校内の駐車場やグラウンドも狭くなり、搬入路も児童と生徒の安全に十分な幅が確保できていないと思います。不特定多数の方が校内に入り、防犯に支障をきたす恐れがあります。学校の近隣で、交通インフラの水準が高い幹線道路沿いへ変更してください。

(寺津)

答

町内会から寺津温水プールの計画への要望書が提出されており、内容は承知しています。工事などを一時中止し、検証・見直しをするため市民の皆さんとの意見交換会を開催しました。いただいた意見を参考にPFI事業を見直していきます。